

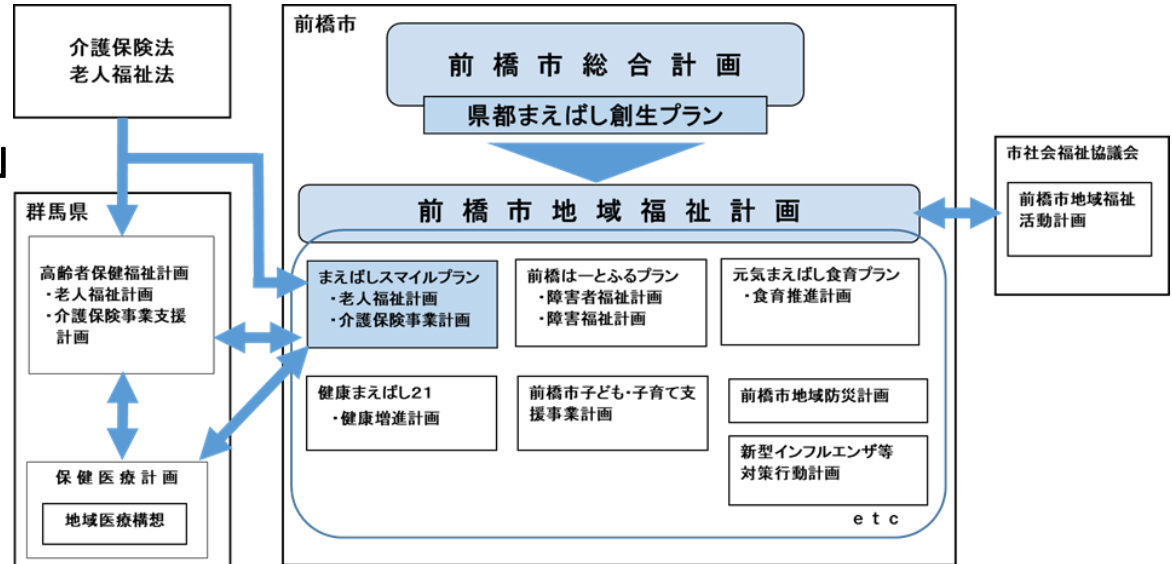
### **(3) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について**

## (2) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

### ① 計画の位置づけ

#### (1)スマイルプランとは

- ・老人福祉法に基づく「老人福祉計画」と介護保険法に基づく「介護保険事業計画」を一体的に策定した計画
- ・高齢者福祉・介護に関わる行政計画
- ・上位計画  
「第七次前橋市総合計画」  
「第2次前橋市地域福祉計画」等
- ・保健・医療・福祉分野をはじめとする各種計画と調和を保ちながら策定・推進



#### (2)第8期計画の策定

[計画期間]令和3年度～令和5年度の3年間  
[策定後]毎年度達成状況を点検、改善策検討

和暦	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	...		R21	R22
西暦	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026			2039	2040
計画	▲ 団塊の世代が65歳に									▲ 団塊の世代が75歳に					▲ 団塊ジュニア世代が65歳に	
	令和7(2025)年と令和22(2040)年を見据えた計画の策定															
	第6期計画			第7期計画			第8期計画			第9期計画						

## (2) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

### ② 第8期計画の目標設定

第7期計画で設定した3つの課題への取組に対する評価、高齢者の現状、改正後の介護保険制度の方向性等から、第8期計画の目標を以下の6つに設定しました。

<b>目標Ⅰ</b>	<b>地域における連携強化 ⇒3頁へ</b>
周囲とのつながりの弱い高齢者をはじめとする市民やその家族を地域全体で支えるため、地域における関係機関や多職種、住民間の一層の連携強化を目指します。	
<b>目標Ⅱ</b>	<b>高齢者を支える生活支援体制の構築 ⇒4頁へ</b>
地域住民が互いに尊重し合いながら、社会参加・共生する地域社会の実現に向けて、地域の多様な主体による支え合いに向けた取組を一層推進するほか、権利擁護、自然災害や感染症対策に係る体制を整備します。	
<b>目標Ⅲ</b>	<b>介護予防・健康づくりの推進 ⇒5～8頁へ</b>
身近な地域で心身や生活の状況に合わせた介護予防に取り組むことができるよう、介護予防の普及・啓発を進めるとともに、高齢者の生きがい活動・社会参加を促進します。また、高齢者の健康づくりに関係部門と連携して取り組みます。	
<b>目標Ⅳ</b>	<b>認知症高齢者支援の充実 ⇒9、10頁へ</b>
認知症の発症予防・進行抑制とともに、認知症になっても本人やその家族が地域とともに安心して暮らせる社会に向けた支援を充実させます。	
<b>目標Ⅴ</b>	<b>サービスの充実と暮らしの基盤の整備 ⇒11～13頁へ</b>
住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、介護保険サービスと高齢者福祉サービスを充実させるとともに、高齢者向け住まいを計画的に整備していきます。また、幅広い分野での人材確保及び育成を国・県と連携して進めます。	
<b>目標Ⅵ</b>	<b>安定した介護保険制度の運営 ⇒14頁へ</b>
情報分析に基づく給付適正化を実施し、利用者が真に必要とする過不足のないサービス提供を促すことで、効率的かつ安定的な介護保険事業の運営を目指します。	

(2) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

③ 令和3年度上半期の取組状況

1) 目標Ⅰ 地域における連携強化

※第8期まえばしスマイルプラン 46頁～を参照

◆ 地域における相談・見守り体制の充実、連携強化に関する取組状況

目標項目		第7期	第8期	
		令和2年度 (実績)	令和3年度 (上半期実績)	令和3年度 (目標)
地域包括支援センターの 相談対応実件数	(件/年)	7,011	3,567	7,200
地域ケア会議において 明確化された地域課題数	(件/年)	1	2	5

※主な課題と対策

「地域包括支援センターの機能強化」

(課題) ・相談内容が複雑化し、対応に時間を要している。  
(対策) ・研修や事例検討会による職員の対応力等の向上。

「地域ケア会議による多職種や地域との連携推進」

(課題) ・地域包括支援センターにより地域課題抽出にばらつきがある。  
(対策) ・地域別課題検討会議を開催し、地域課題抽出の考え方の統一と周知を図る。

◆ 医療と介護の連携強化に関する取組状況

目標項目		第7期	第8期	
		令和2年度 (実績)	令和3年度 (上半期実績)	令和3年度 (目標)
おうちで療養相談センター まえばしへ初めて相談した 専門職の人数	(人/年)	60	32	25
認知症初期集中チームへの 医療・介護関係者からの依 頼件数	(件/年)	10	8	12
ACPと私の人生ノートに関する 講習会の受講者数(※)	(人)	13	28	150

※主な課題と対策

「在宅医療・介護連携支援体制の充実」

(対策) ・おうちで療養相談センターまえばしのパンフレットやホームページの随時見直し。

「認知症に関する取組の強化」

(課題) ・依頼のあるかかりつけ医の固定化。  
(対策) ・引き続き、市医師会を經由して各病院・医師へ事業の周知を図りつつ、各地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等との情報連携体制の強化。

「看取りに関する取組の強化」

(課題) ・講習会の対面以外の開催方法の検討。  
(対策) ・医師会サロンなどで周知をし、専門職に対する少人数の感染症対策に考慮した講習会の実施。

※第8期スマイルプランには「『累計』受講者数」と記載されているが、誤りのため一部文言を訂正。  
(誤)累計受講者数 → (正)受講者数

(2) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

③ 令和3年度上半期の取組状況

2) 目標II 高齢者を支える生活支援体制の構築

※第8期まえばしスマイルプラン 51頁～を参照

◆ 地域の多様な主体による支え合いづくりの推進

・生活支援体制整備の推進に関する取組状況

目標項目	第7期	第8期	
	令和2年度 (実績)	令和3年度 (上半期実績)	令和3年度 (目標)
町社協設立モデル事業の 累計申請数 (件)	20	27	40
地域資源情報の累計把握数 (件)	715	719	740

※主な課題と対策

「生活支援体制整備の推進」

(課題)

・新型コロナウイルス感染拡大により、町内の合意形成が遅れ、町社協設立モデル事業への申請が見送られる懸念。

・地域資源情報連携システムの有効活用

(対策)

・勉強会の実施など町内の合意形成に向けた支援。  
・システム上の地域資源情報の市HP掲載等、収集から情報提供までのサイクルを活性化させる。

「成年後見制度の利用促進」

(課題)

・制度利用の相談件数増加に対応できる体制づくり。

(対策)

・前橋市社会福祉協議会内に中核機関「あんしんサポートまえばし」を設置。成年後見制度について相談、利用しやすい体制づくりに努める。

「高齢者虐待防止等への対応」

(課題)

・高齢者本人に認知症がある場合、相談内容が事実に基づくものか判断困難な場合がある。

・家族間トラブルとも見受けられる通報もあり、高齢者虐待とのすみ分けが必要と考えられるケースもある。

(対策)

・家族等への状況確認を丁寧に行う。  
・高齢者本人や家族、第三者(介護支援専門員、サービス事業者、民生委員等)へ事実確認を行い、高齢者虐待としての対応が必要なのか、包括的継続的ケアマネジメントで対応する方が適切であるのか、コア会議の中で判断していく。

◆ 利用者のサービス選択の自由と権利擁護の仕組みづくり

・成年後見制度の利用促進、高齢者虐待防止等への対応に関する取組状況

目標項目	第7期	第8期	
	令和2年度 (実績)	令和3年度 (上半期実績)	令和3年度 (目標)
地域包括支援センターにおける 成年後見制度に関する延べ相談件数 (件/年)	178	95	130
市長申立て相談件数 (件/年)	10	10	6
認知症高齢者等成年後見制度利用支援事業における後見人等の報酬費用の補助件数 (件/年)	15	10	20
地域包括支援センターにおける高齢者虐待に関する延べ相談件数 (件/年)	2,161	1,218	1,600
高齢者虐待に関する通報件数 (件/年)	85	34	85

(2) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

③ 令和3年度上半期の取組状況

3) 目標Ⅲ 介護予防・健康づくりの推進

※第8期まえばしスマイルプラン 60頁～を参照

◆ 介護予防の推進

ア 介護予防・生活支援サービス事業に関する取組状況

目標項目		第7期			第8期		
		令和2年度 (実績)	令和3年度 (上半期実績)	令和3年度 (目標)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (上半期実績)	令和3年度 (目標)
訪問型サービス							
訪問型サービスA	利用者数	(人/月)	30	24	35		
訪問型サービスC	利用者数	(人/年)	7	7	5		
通所型サービス							
通所型サービスA	利用者数	(人/月)	145	128	180		
通所型サービスC	参加実数	(人/年)	40	23	96		
その他の生活支援サービス (配食サービス)							
実利用者数		(人/年)	503	395	520		
配食数		(食/年)	90,330	44,541	98,110		

※主な課題と対策

「訪問型サービスA」

(課題)

・利用者の減少

(対策)

・介護支援専門員向けの周知用チラシを作成

「訪問型サービスC」

(課題)

・サービス利用後の生活状況等の把握・評価が必要。

(対策)

・利用者からは目標達成度や主観的健康観の変化、  
介護支援専門員からはサービス利用前後の変化等の  
聞き取りを行う。

「通所型サービスA」

(課題)

・利用者の減少

(対策)

・広報折り込みチラシと介護支援専門員向けチラシ  
により周知。

「通所型サービスC」

(課題)

・利用者の減少

(対策)

・関係機関と協議の上、事業中止が長引いた際の  
代替サービス案の準備。

「配食サービス」

(課題)

・要件に合致しない申請が見受けられる。

(対策)

・事業内容の見直しと審査要件の明確化。

(2) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

③ 令和3年度上半期の取組状況

3) 目標Ⅲ 介護予防・健康づくりの推進

※第8期まえばしスマイルプラン 62頁～を参照

◆ 介護予防の推進

イ 一般介護予防事業

i 介護予防普及啓発事業に関する取組状況

目標項目		第7期 令和2年度 (実績)	第8期	
			令和3年度 (上半期実績)	令和3年度 (目標)
ピンシャン！元気体操教室				
延べ参加者数	(人/年)	26,188	9,900	30,000
高齢者健康教育(教室)				
市主催:延べ利用者数	(人/年)	635	354	1,200
老人福祉センター:延べ利用者数	(人/年)	1,441	512	2,500
高齢者健康相談				
市主催:延べ参加者数	(人/年)	455	217	350
老人福祉センター:延べ参加者数	(人/年)	5,079	1,559	8,650
一般介護予防教室				
参加者数	(人/年)	456	178	1,000

※主な課題と対策

(課題)

新型コロナウイルス感染拡大により、教室等の開催が延期や中止となり、参加者、利用者が減少。

「ピンシャン！元気体操教室」

(対策)

- ・オンライン配信による実施。
- ・人数制限や予約制など感染対策を徹底して開催。
- ・自宅での取組支援として、体操の動画配信・ラジオ放送・CD配信を実施。

「高齢者健康教育」

(対策)

- ・人数制限や時間短縮を検討。
- ・老人福祉センターや教室の再開の周知

「高齢者健康相談」

(対策)

- ・短時間での実施や、電話による相談の実施。

「一般介護予防教室」

(対策)

- ・開催回数や内容の見直し
- ・オンライン開催

(2) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

③ 令和3年度上半期の取組状況

3) 目標Ⅲ 介護予防・健康づくりの推進

※第8期まえばしスマイルプラン 64頁～を参照

◆ 介護予防の推進

イ 一般介護予防事業

ii 地域介護予防活動支援事業に関する取組状況

目標項目		第7期	第8期	
		令和2年度 (実績)	令和3年度 (上半期実績)	令和3年度 (目標)
ピンシヤン体操クラブ				
体操クラブ活動数	(クラブ)	67	67	70
介護予防サポーター育成				
介護予防サポーター累計登録数	(人)	1,249	1,249	1,280
介護予防サポーター活動者数	(人/年)	774	742	750

※主な課題と対策

「ピンシヤン体操クラブ」

(課題)

・感染予防のための会場利用制限、担い手の不足

(対策)

・体操クラブの登録条件を緩和し、屋外での活動が可能な「ピンシヤン元気ひろば」の実施。

・オンライン開催や代替会場の確保など活動継続のための仕組みづくりを検討。

「介護予防サポーター育成」

(課題)

・感染予防のため育成人数や開催時間が制限。

・地区により登録数にばらつきがある。

・サポーターのモチベーション維持

(対策)

・サテライト会場を設け分散して開催。

・登録者の少ない地区を重点地区とし、該当の地区公民館に協力要請。

・活動休止時をスキルアップの機会と捉え、スマホ講座やオンライン研修会などを企画、実施。

iii 地域リハビリテーション活動支援事業に関する取組状況

目標項目		第7期	第8期	
		令和2年度 (実績)	令和3年度 (上半期実績)	令和3年度 (目標)
地域ケア会議・通いの場でリハビリ専門職が関わった対象者数	(人/年)	307	15	350

「地域リハビリテーション活動支援事業」

(課題)

・「通いの場」の感染予防のための活動自粛  
・施設、病院からのリハビリ専門職の派遣が困難。

(対策)

・委託先の地域リハビリテーション広域支援センターと連携し代替策(オンライン講習、アンケート調査、フレイル予防冊子配布)の実施。



(2) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

③ 令和3年度上半期の取組状況

3) 目標Ⅲ 介護予防・健康づくりの推進

※第8期まえばしスマイルプラン 68頁～を参照

◆ いきがい活動の推進

ア 有償ポイントに関する取組状況

目標項目		第7期	第8期	
		令和2年度 (実績)	令和3年度 (上半期実績)	令和3年度 (目標)
介護予防活動ポイント交換者 (活動者数)	(人/年)	177	-	140
介護予防活動ポイント制度 累計登録者数	(人)	1,398	1,404	1,400

※主な課題と対策

「介護予防活動ポイント制度」

(課題)

・新型コロナウイルス感染拡大の影響で登録者が減少。

(対策)

- ・活動の幅を拡げられるよう、ピンシヤン体操クラブの条件を緩和。
- ・委託先のボランティアセンターが、ボランティア受入施設に対しアンケートを実施し、施設外でもできるボランティア活動について意見を募集し、新しいポイント活動を検討。

イ 人が集う居場所づくりに関する取組状況

目標項目		第7期	第8期	
		令和2年度 (実績)	令和3年度 (上半期実績)	令和3年度 (目標)
はつらつカフェ設置数	(か所)	26	12	27
認知症カフェ (はつらつカフェ含む) 延べ参加者数	(人/年)	1,258	(15) ※認知症 カフェのみ	1,000

「認知症カフェ、はつらつカフェ」

(課題)

・新型コロナウイルス感染拡大の影響で公民館等に集まったの活動が困難となり、新規立上げを推進できなかった。また、開催の中止が続いた。

(対策)

- ・認知症伴走型支援事業(※)の開始に併せ、認知症カフェの新規設置を検討。
- ・実施したアンケートの調査結果を分析し、より良い運営に結びつける。

※「認知症伴走型支援事業」

認知症グループホーム等の地域の介護サービス事業所等を活用し、認知症の人とその家族に対する専門的な相談・助言等を日常的かつ継続的に行う伴走型支援拠点の整備を支援する。

(2) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

③ 令和3年度上半期の取組状況

4) 目標Ⅳ 認知症高齢者支援の充実

※第8期まえばしスマイルプラン 75頁～を参照

◆ 認知症との「共生」

ア 認知症ケアパスの活用に関する取組状況

目標項目		第7期	第8期	
		令和2年度 (実績)	令和3年度 (上半期実績)	令和3年度 (目標)
(認知症ケアパス) 市民への配布数	(冊/年)	6,000	4,000	8,150

※主な課題と対策

「認知症ケアパスの活用」

(課題) ・新型コロナウイルス感染拡大により地域住民が集まる場での配布が行えなかった。  
・実際の程度市民(認知症の人やその家族等)に活用されているかを把握できていない。

(対策) ・配布方法の再検討。  
・関係機関での配布状況や活用状況を把握する。

「SOSネットワーク体制の構築」

(課題) ・発見率が目標に達せず、効果は不十分。  
(対策) ・事業内容の必要性や運用方法について検討を続ける。

「GPS端末貸出事業」

(課題) ・携行が困難である利用者への対応。  
(対策) ・利用終了者へのアンケートで有効であった携行方法を聴取しており、今後その結果を介護支援専門員等に周知する。

「認知症サポーター養成」

(課題) ・市職員以外のキャラバン・メイトによる講座開催の実績が少ない。  
・新たな対象の拡大。  
(対策) ・キャラバン・メイトに対しオンライン開催について周知。  
・旅客運送業や水道局、郵便局、民間企業との連携。  
・小中学生を対象とするため各学校への周知を強化。

イ 見守りネットワークの整備に関する取組状況

目標項目		第7期	第8期	
		令和2年度 (実績)	令和3年度 (上半期実績)	令和3年度 (目標)
SOSネットワーク体制の構築				
累計事前登録者数	(人)	439	460	490
まちの安全ひろメール登録者数	(人)	17,017	17,198	16,900
SOSネットワーク事業による発見率	(%)	10	5	18
GPS端末貸出事業				
行方不明後1時間以内に発見された延べ件数割合	(%)	82	94	80
介護負担が軽減した介護者数(アンケートによる)	(人)	—	14	20
認知症地域支援推進員等設置事業				
認知症に関する相談件数	(件/年)	4,057	2,256	2,150
認知症サポーター養成				
認知症サポーター累計養成数	(人)	25,495	25,770	25,800
認知症サポーター養成講座開催数	(回/年)	34	14	30

(2) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

③ 令和3年度上半期の取組状況

4) 目標Ⅳ 認知症高齢者支援の充実

※第8期まえばしスマイルプラン 78頁～を参照

◆ 認知症との「共生」

ウ 認知症カフェの設置に関する取組状況(再掲)

目標項目		第7期	第8期	
		令和2年度 (実績)	令和3年度 (上半期実績)	令和3年度 (目標)
認知症カフェ (はつらつカフェ含む) 延べ参加者数	(人/年)	1,258	(15) ※認知症 カフェのみ	1,000

※主な課題と対策

「認知症カフェの設置」(再掲)

(課題)

新型コロナウイルス感染拡大により中止が続いた。

(対策)

実施したアンケートの調査結果を分析し、より良い運営に結び繋げる。

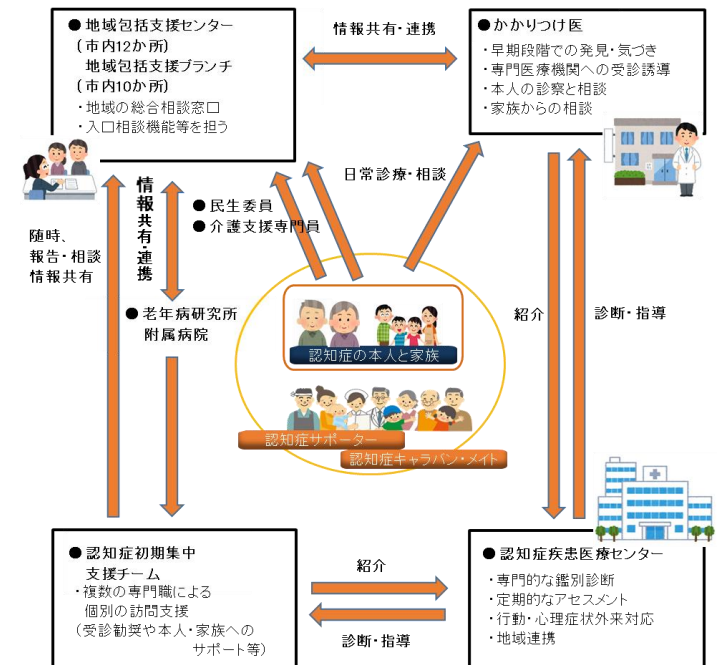
エ 認知症本人ミーティングの開催に関する取組状況

目標項目		第7期	第8期	
		令和2年度 (実績)	令和3年度 (上半期実績)	令和3年度 (目標)
本人視点を取り入れた施策の企画・立案数		—	アンケート実施	課題抽出

◆ 認知症の「予防」

ア 認知症初期集中支援チーム体制の充実

目標項目		第7期	第8期	
		令和2年度 (実績)	令和3年度 (上半期実績)	令和3年度 (目標)
支援チームが把握した対象事例数	(件/年)	41	29	50
支援チームの介入により新たな医療・介護サービスにつながった人の割合	(%)	82.4	82.4	61



(2) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

③ 令和3年度上半期の取組状況

5) 目標V サービスの充実と暮らしの基盤の整備

※第8期まえばしスマイルプラン 82頁～、91頁を参照

◆ 介護保険給付対象外のサービス

目標項目		第7期	第8期	
		令和2年度 (実績)	令和3年度 (上半期実績)	令和3年度 (目標)
高齢者支援配食サービス				
実利用者数	(人/年)	689	527	690
配食数	(食/年)	106,816	51,003	110,110
生活管理指導短期宿泊				
受入施設数	(か所)	4	4	6
利用者数	(人/年)	13	5	20
緊急通報システム設置件数	(件)	266	303	240
電話訪問実登録者数	(人)	60	59	70

※主な課題と対策

「生活管理指導短期宿泊」

- (課題)・施設の空き状況等に応じて、受け入れの可否が左右される。  
 ・緊急的または一時的に保護を必要とするケースが増えている。  
 (対策)・受け入れ施設数を増やすことを検討する。  
 ・緊急時に早急な対応を関係者間で連携して行えるよう、フローチャートの作成を検討する。

◆ 介護人材の確保・育成

目標項目		第7期	第8期	
		令和2年度 (実績)	令和3年度 (上半期実績)	令和3年度 (目標)
介護に関する入門的研修				
研修修了者数	(人/年)	49	12	55
訪問型サービスA従事者養成研修				
研修修了者数	(人/年)	0	6	30

※主な課題と対策

「介護に関する入門的研修、訪問型サービスA従事者研修」

- (課題)・申込人数が伸び悩んでいる。  
 (対策)・広報やHPの他、介護関係の研修をまとめたチラシの作成や、介護予防サポーターへ定期メールの配信等を実施。その他の周知方法の検討を続ける。

「緊急通報システム」

- (課題)・利用者の居住地に偏りがある。  
 (対策)・民生委員の定例会等で、他の見守り事業や各地域包括支援センター窓口等を紹介し、ひとり暮らし高齢者へのサポートを強化する。

「電話訪問実登録者数」

- (課題)・登録者数は横ばいが続いている。  
 (対策)・介護支援専門員、民生委員への事業周知を強化。  
 ・市民向けの周知を強化(「社協だより」等への掲載)

(2) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

③ 令和3年度上半期の取組状況

5) 目標V サービスの充実と暮らしの基盤の整備

※第8期まえばしスマイルプラン 89頁～を参照

◆ 介護保険施設・地域密着型サービスの整備目標及び取組状況

施設(サービス)区分		単位	第7期計画 (令和2年度末)	第8期計画整備数						第8期計画 (令和5年度末)
				令和3年度		令和4年度 目標	令和5年度 目標	合計		
				実績	目標			実績	目標	
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	広域型	定員	1,804	0	-	30	0	30	0	1,834
	地域密着型	定員	155	0	-	0	0	0	-	155
	合計	定員	1,959	0	0	30	0	30	0	1,989
介護老人保健施設	定員	1,044	-39	選定中	0	0	-39	0	1,005	
介護医療院	定員	26	39		0	0	39	0	65※1	
特定施設入居者生活介護 (介護付き有料老人ホーム)	定員	680	160	選定中	80	0	240	0	920	
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	事業所	39	1※2	1	1※3	0	2	1	41	
	定員	486	18	18	18	0	36	18	522	
小規模多機能型居宅介護	事業所	18	0	-	1※3	0	1	0	19	
	登録定員	495	0	-	29	0	29	0	524	
看護小規模多機能型居宅介護	事業所	1	0	-	0	0	0	0	1	
	登録定員	29	0	-	0	0	0	0	29	
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	事業所	3	0	-	0	0	0	0	3	

※1) 令和5年度末で廃止される介護療養型医療施設1施設(定員:5人)からの転換は含まれていない。

※2) 城南・大胡・宮城・粕川圏域を除く市内全域

※3) 認知症対応型共同生活介護と小規模多機能型居宅介護の併設、城南・大胡・宮城・粕川圏域を優先

(2) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

③ 令和3年度上半期の取組状況

5) 目標V サービスの充実と暮らしの基盤の整備

◆ 令和3年度上半期の取組状況

施設種別	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	介護医療院 (介護老人保健施設からの転換)	特定施設入居者生活介護 (介護付き有料老人ホーム)
整備区分	新設	転換	転換
進 捗	選定済 ※令和4年上半期開設予定	整備事業者を選定中	整備事業者を選定中
選定法人	株式会社フロンティア	—	—
所在地	下小出町(南橘圏域)	—	—
整備数	1施設18人分	39人分	160人分

(2) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

③ 令和3年度上半期の取組状況

6) 目標VI 安定した介護保険制度の運営

※第8期まえばしスマイルプラン 93頁～を参照

◆ 介護給付の適正化

① 要介護認定の適正化

点検結果や認定結果を検証・分析し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から認定調査委託事業所向けに文書で周知した。引き続き審査・認定の適正化に努める。

② ケアプランの点検

高齢者向け住まい等に入居している利用者のケアプラン点検は21件実施しているが、令和3年9月に国から趣旨・目的・仕組み等について周知されたため、その内容を踏まえ、具体的な対応方法を検討中である。

③ 住宅改修等の点検

重度寝たきり状態への福祉用具貸与について調査を実施し、ケアプランの見直しにつながる事例も発見された。引き続き利用者の状態に合った適切な利用がされているか点検を進める。

⑤ 介護給付費通知の送付

昨年度の周知方法に加えて、利用者や家族の身近な存在である介護支援専門員に対して制度の趣旨を伝える方向で検討中である。

※ 下半期実施予定事業

- ①(認定審査員研修の開催)、④(縦覧点検の残り1帳票)、⑥(事業所単位での点検)、⑦(説明会の開催)

目標		令和2年度 (実績値)	令和3年度 (上半期 実績値)	令和3年度 (目標値)
① 要介護認定の適正化	調査票の全数点検	全数	全数	全数
	認定調査員研修会の実施 (回/年)	1	0	2
	介護認定審査員研修・連絡調整会議における各委員の最低参加回数 (回/年)	1	0	1
	介護認定審査会合議体委員の入替 (回/年)	1	改選	改選
② ケアプランの点検	ケアプラン点検数 (うち、有老等に焦点を当てた点検数) (件/年)	72	53 (21)	60 (0)
③ 住宅改修等の点検	住宅改修における現地調査数 (件/年)	8	2	4
	福祉用具貸与における実態調査数 (件/年)	1	1	1
④ 縦覧点検・医療情報との突合	点検帳票数	5	4	5
	医療情報との突合月数	毎月実施	毎月実施	毎月実施
⑤ 介護給付費通知の送付	周知方法の工夫	広報・ホームページ	周知方法検討中	周知方法の検討等
⑥ 給付実績の活用	事業所単位での確認・指導回数 (回/年)	-	0	1
⑦ その他の適正化事業	説明会の開催回数 (回/年)	資料配布	0	1